



梅田通信

No. 19
平成22年
1月13日発行

日野市議会議員 梅田俊幸 後援会 梅田通信

2010. January

UMEDA TOSHIYUKI'S NEWS

市政報告

寒中お見舞い申し上げます

新年明けましておめでとうございます。

昨年から流行しました新型インフルエンザは年末、年始も予測していたほどの流行もなく、一安心しました。

しかし、これから寒さも本格的になりますので皆様には十分な対策をお願い申し上げます。

さて、平成22年の年明けとなり、日野市議会では2月には市議会議員の改選期を迎えることとなります。

私は、昨年の第3回定例会(9月)で議員定数の削減を提案しました。

今回の市議会議員選挙よりこれまでの定数26名から24名となりました。

(詳細は後記参考①)

削減案には当然賛否はございますが現在の地方議会の様々な状況や市政を鑑み、議会自らが身を削らせて頂きました。

また、第4回定例会(12月)では期末手当についても0.35ヶ月削減を行いました。

(詳細は後記参照②)

地方議員年金につきましても、これは国会で決定されますが、国会議員同様、何れ廃止になると思います。

定数削減よりこれまで以上に議員の本質が問われると思います。僭越ではありますが、市民各位にも今回の市議会議員選挙は、地方議会や議員のあり方を考える良い機会だと思います。

私も皆様方にしっかりと私の考えをお伝えし、皆様の代弁者に相応しいと思って頂けるように活動を行う所存です。

これまでも日野市議会は、市政においての行革と同様に様々な歳費削減を推進してきましたが今後もより一層、時代に合った議会運営を模索し、より市民に開かれた市議会となるように議会改革を進めたいと考えております。

市民の皆様のもより一層のご支援を心よりお願い申し上げます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

平成22年 初春月 梅田俊幸



今年もタッグを組んで市政運営を行います

平成21年度第3回定例会報告

今定例会は、9月1日から28日まで開催され、平成20年度の決算審議も行いました。

自民クラブは、この決算について認定をしました。また、馬場市長から「市民の森ふれあいホール」建設の休止を解除し、建設再開を決断したと発表がありました。



「土地活用推進室について～円滑な活用推進を図るために」

今年度の新規政策の一つであります、土地活用推進室について質問をしました。

この担当部署は市有地や土地開発公社有地、土地区画整理事業保留地等の公有地の活用を一括に担当する部署として、今年度から新設されました。

市税収入が減少傾向にある昨今、不要不急な公有地を売買したり、貸借する専門部署して、有意義な政策であり、期待するものです。

担当者は専門家ではありませんので、民間との連携や調査、研修が必要であります。ご存知のとおり土地価格は、経済情勢や需要により変動しますし、契約に至るまでには、交渉もあります。何より市有地は市民の貴重な財産でありますので、慎重な対応も必要です。質問項目は以下です。

- ・土地開発公社の所有地名簿の整理について
- ・狭小地、道路敷や水路敷の管理、整理について
- ・市有地等の価格設定について
- ・本年度の歳入見込みは達成できるか

土地開発公社の所有地は、馬場市長就任直後の平成10年度の簿価残高約229億1千8百万円でしたが平成20年度末は約106億5千2百万円になりました。

日野市は近隣市よりもいち早く公有地売却に着手しましたので、11年間で半分以下となり、馬場市政の行革の成果であると評価します。

しかし、今年度も土地開発公社の金利負担に2億円以上一般会計から繰り出されており、一層の削減が急務と思います。

日野市の場合、まだ4ヶ所で市施行の土地区画整理事業を行っている事情から公社はまだ必要ではありますが前市長時代に無計画に取得した土地、負の遺産も存在しています。

ただ保全すべき緑地等、将来必要となる土地を一時、公社で取得することも必要ですので悩ましい部分は理

解しなければならぬと思います。

以前、ダストボックスの置き場だった等、狭小地もまだたくさん残っています。道路敷、水路敷であった土地も名簿の整理を今年度から改めて行い、整理をするということです。

これまで管理やしつかりとした名簿等の整理もされていないということです。

この様な例え小さな土地であっても市有地であり、しっかりと管理し、不要不急な土地であれば売却することです。

また、市有地等の売却の際、購入希望者から高すぎるとの声があります。私の調査でも近隣市と比べ、高いのではないかと指摘しました。検討すべきと思います。

昨今の経済情勢でこの施策の推進は大変難しいことと思います。しかし、冒頭申し上げたとおり、歳入減を少しでもカバーするための施策でありますし、土地開発公社の簿価残高の減少を一層図らなければならないと思います。今後もチェックを行っていききたいと思います。

①「議員定数削減案」を提案しました。

議員定数を26名から24名と削減しました。提案には、市民の参政権を制約する、立候補できる人が狭まる、議会の沈滞化が起こる、市民への配慮不足等の反対意見もありましたが賛成多数で可決されました。

私は、議員削減についての一般的なデメリットも承知しています。しかし、現在の社会情勢や今後の地方議会のあり方等、様々な視点に立って考えた時、当市議会においての必要最小限の定数を考えることが市民本位の姿勢ではないかと思っています。

確かに人口比率だけでは定数は決められないと思います。地方の人口は少ないが広い面積を有している市では、その面積に応じた議員数が必要であり、市民の参政権という論法も理解できます。

また、立候補できる人が狭まるという意見もあります。議員数が少なくなれば、政党公認候補が有利ではないかというものですが、果たしてそうでしょうか。

議会のあり方という議論も今後の課題だと思います。

欧米の議会のようにすべきという論者もいますが現状、直ぐにそこまでの大改革は難しいと思いますが根本的な考え方も含め、参考にすべき点はたくさんあります。

来年度から議員報酬についても、報酬審議会を立ち上げ、議論して頂きたいと思います。そして私は、今回の定数削減で削減された歳費の一部を議会改革、開かれた議会運営のために使わせて頂きたいと考えています。

全国的には、出張議会等、幾つかの議会で試みている施策があります。当議会も試行錯誤させて頂き、日野市議会スタイルを作っていきたいと思っております。

市民の皆様は議会改革について、どうお考えでしょうか。ご意見を頂戴出来れば幸いです。

平成21年度第4回定例会報告

今年度最後の定例議会であり、補正予算約15億1千7百万円（一般会計）を計上しました。この補正予算の主な事業は、生活保護費3億円、市立病院運転資金、環境整備補助金約6億2千万円、民間保育園建設費補助金約1億9千万円、障害者自立支援事業8千9百万円等があります。また、新型インフルエンザのワクチン接種負担軽減事業、生活保護費母子加算復活の補正予算については、緊急性のため、専決処分したとの報告がありました。

平成21年度行政評価システム市民評価結果が公表されました。対象51事業のこの評価は平成22年度予算編成へ反映されます。私ども市議会としても参考にさせて頂きたいと考えています。

11月から入札・契約等監視委員会を設置しました。これは、公平、公正性の確保と透明性を図ることを目的に中立で専門性のある第三者機関を設けました。近隣市も既に設置している自治体もあり、全国の市町村では、約10%の設置状況です。

職員給与制度等の見直しに係わる条例改正を行いました。これは、東京都の人事委員会勧告に基づく改正、制度の適正化に向けた改正です。給料月額水準の引き下げ2.0%/月、期末手当支給率の引き下げ0.35ヶ月、勤勉手当への成績率の導入等、公民格差によるものや東京都に準拠するものです。

一般質問 「まちづくりの今後の見通し～区画整理事業、生活拠点の整備について」

政権交代により、今後の国の関連事業や補助金の見通しが立たないものが現状です。特に国交省関連では削減や凍結される事業も多く、現在、来年度の予算編成時期でもあることから、地方行政としては困ってい

る状況であり、大変憂慮する事態だと思っております。当市では、市施行4事業、組合施行6事業の土地区画整理を推進しており、今後の影響が心配です。

質問 ・区画整理事業への今後の影響

事項 ・国道バイパス整備、ルート認定の見通し

私共自民クラブと八王子市議会自民党との議員連盟で陳情行動をしている国道バイパス3・3・2号線未事業化区間、西平山から八王子市北野町までの1.5kmは、未認定区間と見なされ、事務手続きに入れない状態であるということです。

この日野バイパス延伸事業には、今年度当初予算事業費17億、負担金5億6千7百万円入っていましたが来年度見込みでは、4～6億円程度との通達がありました。

延伸入口の川辺堀之内地区の事業は今年度からであり、区間の暫定共用を考え、推進することが必要であることは自明であります。

質問 ・多摩の拠点整備計画について

事項 ・豊田駅周辺整備、旧多摩平団地の用地譲渡について

・南平駅周辺整備について

平成21年8月東京都は、「多摩の拠点整備基本計画」を公表し、7地区を指定し、活力と魅力にあふれる多摩地域の創造を行うこととしました。この中に豊田駅周辺も指定されました。

今後の計画であることから現状では具体的な計画案はないということですが連携したまちづくりが期待されます。

旧多摩平団地の用地売却は、平成22年3月までにはO街区、N街区が入札されるということで、状況を質問し、Aブロックの利用については、再考を提言しました。

南平駅周辺整備については、駅のバリアフリー化と同時に周辺整備を地域の方々と協議を行うように提言し、市も協議を進める考えがあることを確認しました。

②今定例会で前述しましたように職員給与制度の見直しを可決しましたが同様に議員報酬についても、期末手当を同率0.35ヶ月引き下げました。これにより4.75ヶ月/年としました。

期末手当に関しては、役職加算をなくすべきとの意見もありますので、議員定数削減でも記述しましたが来期に報酬審議会を設置し、議員報酬全般について議論して頂くことを提案するつもりです。

活動報告

9月

- 9月1日～9月28日 平成21年度第3回定例会
- 3日 日野法人会
市立病院応援団発足会
- 5日 若宮神社祭礼
子供相撲大会
敬老大会式典
- 6日 若宮神社祭礼式典
- 12日 市民文化祭開会式
- 18日 群馬県防衛協会青年部
10周年記念大会
- 19日 豊かな里 敬老会
- 20日 石明神社祭礼式典

10月

- 4日 日野市剣道連盟大会
- 6日 三浦市立病院 行政視察
- 7日 自民党三議連都への予算要望
- 7日・8日 全国都市問題会議 熊本市
- 11日 ふたば幼稚園運動会
- 17日 一中新校舎落成記念式典
- 19日 東京都四市競艇事業組合
行政視察 三重県
- 20日 東京都十一市競輪事業組合
監査
- 23日 市議会議員研修
- 24日 五小開校50周年記念式典
- 25日 後援会第6回バス旅行
- 30日 二小学校運営連絡協議会
- 31日 正秋バンドチャリティコンサート

11月

- 5日 「産業交流展'09」視察
- 
- 6日 戦没者追悼式
 - 7日 二中青少年育成会
三世代の集い
 - 8日 第四自治会防災訓練
 - 10日 東京都四市競艇・十一市
競輪事業組合議会
 - 14日 第43回産業まつり開会式
 - 17日 自民党三議連 冬期研修会
 - 18日 東京都十一市競輪事業組合
監査
 - 21日 全国防衛協会青年部会全国
大会 埼玉県
 - 23日 花塚供養式典
 - 26日 市議会代表者会議
会派会議

12月

- 12月1日～17日 平成21年度第4回定例会
- 4日 理事者との懇親会
- 6日 ひの市民活動センターまつり
- 14日 国道バイパス促進 要請活動
3・3・2号線延伸認定、

堀之内区画整理事業覚書に
についても要望しました

- 15日 東京ガス立川展示場視察
- 16日 事務所開き



- 25日 天皇陛下在位20周年
東京都慶祝の集い
- 29日・30日 防犯・防火パトロール
多摩平一丁目5自治会連合会
- 31日 若宮神社 商店会・神輿会
奉仕活動

1月

- 1日 拉致被害者支援街頭活動
高幡不動駅前



第9回

いも煮集会のご案内



梅田としゆき後援会主催

恒例の「いも煮集会」を今年も行います。皆様お誘い合わせの上、ご参加下さい。

日時：平成22年1月17日(日) 午前10時から

場所：浅川左岸豊田児童グラウンド前堤防

会費：100円(甘酒も付きます)

応援予定：馬場市長、古賀都議、小川前衆議院議員、他

